

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

調査日:2025年10月

公表:2026年 4月

事業所名 きらら那珂川

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		その日の利用人数や場面に合わせて個室とホールを使い分けて環境を整えています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		適切な人員を配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		玄関以外はフルフラット。手順書など視覚的に分かりやすい配慮をしています。トイレも男女、子ども用に分けています。	今後も利用児童の特性に応じた環境作りを目指していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃・消毒・換気を実施して日々清潔に保っています。活動に合わせて机の配置など都度変更しています。	今後も来所時や食事・おやつの前には、手洗い・消毒を行い心地よく過ごせる環境を作っていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に職員間で児童の様子や療育内容・支援方法を話し合い業務改善などを行っています。	今後も振り返りを行い、問題点や今後の目標に対して職員間で話し合い、情報共有していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		昨年度の保護者様からのアンケート調査をもとに業務改善を行っています。	今後も保護者様からの意向をもとに活動時の写真の共有する等行っていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		集計後、事業所内への掲示とHPへ掲載します。	今後も集計後公表を行っていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では、未実施です。	今後、実施を検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		子どもの送迎時安全管理の研修・感染症対策研修等を受講しています。他の研修機会があれば積極的な参加を促しています。	今後も研修に定期的に出来るように努めていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		日々の記録から療育の振り返り確認を行い、計画に沿った療育を行えるようにしています。	今後も保護者様との面談を行い、課題や目標を把握して支援計画を作成していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用しています。	モニタリング時には統一したチェックシートを使用していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援計画作成時に、児童に必要な支援内容を設定しています。	今後も必要な項目を考えううえで支援内容を設定していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画に沿った支援が出来るように職員間で共有認識をしていきます。	今後も支援計画に沿った支援が行われるようにしていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月に1度会議を開き、療育状況の共有やプログラムの立案の見直しを実施しています。	今後も職員間で活動内容を見直しを実施していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月に1度又は必要であればその都度、職員会議を開き、プログラムの見直しを実施しています。	集団や個別・季節によつての活動など行い個々に沿つたプログラムを考え行っていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別・集団活動を行い、保護者様のニーズに合わせた支援計画を作成しています。	今後も個々の状況に応じて支援計画を職員・保護者との話し合いで作成していきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼で、その日の職員の動きや利用児童の把握、活動内容についての確認を行っています。	毎日、朝礼を行い、連絡事項や支援内容について確認を行い、職員間で情報の共有をしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		送迎がある為、終了後の振り返りは難しい事が多いです。その際は翌日に行っています。	今後も支援の振り返りを行い、重要な事は職員間の連絡ノートにて共有していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		当日の療育担当者が支援計画書に基づいた記録を記入しています。	今後も支援記録や申し送りを含め、支援の検証・改善を行っていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		適切な時期にモニタリングや職員会議を行い計画の見直しを行っています。	今後も定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っていきます。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		管理者・児発管、必要時には2名以上で参加しています。	今後もふさわしい者が参画し情報共有を行っていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		<input type="radio"/>		今後、実施を検討していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		<input type="radio"/>	医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>	医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>			今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と相互理解を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		移行支援として定期的に行っています。	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と相互理解を行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		現在は実施していません。	助言や研修は受けていません。今後機会があれば専門機関との連携は行っていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>	現在は実施していません。	今後そのような機会が持てるよう検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>	現在のところ、参加していません。	今後研修や講義などの機会があれば積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		送迎時に様子を伝えたり、電話にて連絡をしたりと情報交換を行っています。その内容を会議等で共有していきます。	今後も保護者とはその都度、密に連絡を取り合い情報共有し、共通理解を持てるようにしていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>		現在は実施していません。	今度、保護者からの悩みなどに対して助言やアドバイス等を行っていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に担当者から書類と口頭にて説明を行っています。	利用契約時に運営規定・支援内容・利用者負担等について説明を行い、質問等にもすぐに返答出来るようにしていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		保護者様から課題や今後の目標聞き、支援計画を作成し担当者から説明を行い、計画への同意を得ています。	ガイドラインが示す、支援内容を基に支援計画を作成し、半年に一度、定期的にモニタリングを行い支援内容を説明し同意を得ています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		相談があった際には担当者が面談やお電話にて必要な助言・支援を行っています。	今後も定期的に保護者とお話する機会を設けていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>	現在は実施していません。	保護者の意向を聞き、実施については今後、検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		相談や申し入れがあった際には担当者が面談を行い体制を整え迅速に対応しています。	今後も引き続き相談や申し入れについては、迅速に対応にあたり、職員間で共有していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		会報はありませんが、行事予定についてはその都度お手紙にてご案内をしています。	会報等は発行していませんが、今後、活動概要や行事予定などはその時の写真や動画で発信出来るようにしていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		個人情報取り扱いの研修を行ったり、鍵付き棚にて管理を行っています。	引き続き、個人情報の取り扱いに注意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		言語コミュニケーションが困難な児童には絵カードやジェスチャーで情報の伝達を行っています。	連絡帳や送迎時に保護者様には分かりやすく助言をし、意思の疎通を図っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>	現在は実施していません。	保護者様の意向によっては、今後、実施を検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>		マニュアルを策定し、職員がいつでも見て対応できるように掲示しています。	保護者に対しては周知していませんので、今度、事業所内に掲示すると共に、計画書切り替え時などに説明をしていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		各種避難訓練は行っています。防災センターに行き体験活動も実施しています。	今後も定期的に避難訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>		契約時に確認を行い、職員間で情報共有しています。	保護者と情報共有を行い、児童の健康上の配慮や注意点について、職員が意識出来るよう定期的な確認を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		食物アレルギーがある児童については他児と机を分け、持参した物のみを摂取しています。	保護者からの指示に従い、対応してきます。アレルギーに関しては慎重な対応を行っていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		ヒヤリハットを元に事例集を作成して、情報共有しています。	今後も事例集を元に、全職員で共有し改善策について検討してきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		開所時に虐待防止研修を実施しています。今後も定期的に実施予定です。	シフトの調整を行うなどして、研修の機会を確保してきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>		現在、身体拘束が必要な児童の利用はありませんが、契約時に担当者から書類と口頭にて説明を行っています。	事業所内でも今一度、職員間で研修を行い、身体拘束等について周知してきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。